

署名簿

平成 年 月 日

文部科学大臣 殿

(提出者)

住 所 東京都千代田区富士見1-7-9

団 体 名 日本粘土瓦ユネスコ登録推進協議会

代表者職氏名 会長 薄井 幸夫

『伝統建築工匠の技』ユネスコ無形文化遺産 への申請14項目の追加項目における陳情

【陳情趣旨および理由】

2020年、『伝統建築工匠の技』がユネスコ無形文化遺産に政府から推薦予定となる。しかしながら登録予定はわずか14項目で文化財の補修を目的としたものに限られています。

日本瓦の歴史は1400年以上。588年に百濟より瓦博士4人が派遣されたことから始まります。その間、日本人の繊細な技術と発想力により世界にも類を見ない最良の瓦を次々を開発・施工をした歴史があります。

私たち日本粘土瓦ユネスコ登録推進協議会はこの歴史と伝統の衰退を危惧し、瓦に携わる7団体で構成され、日本瓦の製造・施工技術をユネスコ無形文化遺産登録を目指し活動して参りました。

『修理保存技術』だけではなく『新築技術(一般木造建築)』いわゆる現代の日本人の生活にも密接に関わる粘土瓦全ての登録を目指し、日本瓦の良さを世界に発信することを目的とし活動しております。

【陳情事項】

1. 瓦葺きに関して本葺きだけが申請対象となっているので、他の粘土瓦の施工技術を追加すること。
2. 日本瓦の生産技術も項目に追加すること。

氏 名	住 所	印

※ 氏名・住所をはっきり記入のうえ、押印してください。(サイン・拇印は無効となります)

※ 件名、陳情趣旨、請願(陳情)事項はすべての用紙にご記載ください。